

～環境学館いずみ運営ボランティアによる「いずみガイド」～

8月のデキゴト

8月28日(日)開催 地球温暖化とプラスチック問題

～美しい地球を守るために地球規模で起こっている環境問題を考えよう。～

(1) 地球温暖化

まず、坂戸でも毎年気温が上昇していることを鳩山の気象観測所のデータをもとに皆で確認しました。

(平均気温が40年間で約2℃上昇)

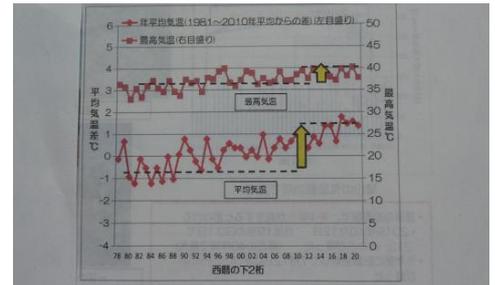
また、温暖化の原因が主に大気中の二酸化炭素が増加している為であること、それが発電の時や自動車の運転の時等に発生していることを説明しました。温暖化を抑える為の具体的な事例紹介として、環境学館いずみの屋根に設置されている太陽光パネルを地上から見てもらったり、電気自動車に試乗してもらいました。(電気自動車はエンジン音がほとんど無く、乗り心地は静かで快適でした。)

最後に、「私たちの未来は変えられる! 身近の行動から始める」の事例をいろいろ紹介しました。参加者の皆さんは、すでに実行していることもあれば、早速実行しようという気持ちになった事例もあったと思います。

(2) プラスチック問題

まず、「プラスチックは便利! そして溢れている!」ということで、プラスチックの袋に入ったお菓子を配りました。(プラスチックの包装紙に包まれていると、確かにお菓子は清潔かつ湿ってなく美味しく食べられますね。)続いて、プラスチックにも素材に種類がある(PET, PE, PP, PS等)ということ、日頃からよく見かけるもので確認しました。

実際に水槽に入れて浮かしてみても(浮くもの・沈むものあり)、そのまま捨てられるとどういったものが川から海に流れていきやすいかを体得してもらいました。(PETボトルや発泡スチロールは特に海まで流れていきやすい。)



最後に、プラスチックごみの問題を解決するために出来ることとして、マイバックの持参、プラスチックスプーンを受け取らない、ストローは紙製を使う等々の事例を紹介しました。

講師からの説明が終わってから、両テーマに対しての質疑応答・意見交換をしました。
具体的な質問・意見の一例を次に紹介します。

1. 意見:太陽光発電の為に、森林を伐採してまでソーラーパネルを設置するのは環境破壊では?

2. 質問:プラスチック容器の中身を使い切っても中の液体がどうしても残ってしまうことがあるが、廃棄するとき(市の回収時)、プラスチック資源(黄色の袋)として出すのか or 燃える資源(赤色の袋)として出すのか?

活発な発言が続き、少し予定時間を過ぎての講座終了となりました。

記 環境学館ずみ運営ボランティア K. I (講師)